

■ 事業概要

事業部門	部門3 ポストコロナ時代を見据えて顕在化した新たなニーズに対応した総合的・特徴的な取組を行う事業
事業地域	東京都杉並区
背景・課題	コロナ禍で明らかになった課題の1つが、在宅時間の増加に伴う ライフスタイルの変化と現在供給されている住宅プランのミスマッチ だ。特に賃貸住宅は、間取りが狭いという物理的な課題に加え、一人暮らしの場合は他者との接点、同居している場合は個人の時間が失われるという精神的な課題も孕む。そこで、私たちが取り組んできたのが「街全体を家」と見立てて地域の暮らしを豊かにすることだ。地域の資源である銭湯を起点に、空き物件を活用した生活拠点をつくることで、新しい暮らしのニーズを捉えてきた。しかし、もう1つの課題により、物件数は伸び悩んでいる。それは、 空き物件のオーナーが活用方法に悩んでいる ことだ。世の中が急速に変化する中で活用の判断は難しく、住宅市場に出ない物件が数多くある。
目的	本事業は、 地域資源を起点にした空き物件の活用 を促すために、 空き物件のオーナーと地域に関わるプレイヤーのマッチング を促すことを目指す。具体的には、実践的な空き家活用勉強会と事業化支援を行うことで、活用に至るまでのノウハウを整理し、他の地域に展開可能なモデルケースを構築する。
連携する団体・役割	株式会社まめぐらし（情報発信、コミュニティづくり）、株式会社パーシモンヒルズ・アーキテクト（改修に向けた調査・設計）、株式会社小杉湯（銭湯との連携相談）等

■ 取組内容と成果（概要）

